

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
 発行人 角田 義行
 〒378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
 E-mail: tonekyou@pref.gunma.lg.jp

児童生徒が「～する」授業への転換とは・・・

～エージェンシーを発揮し「自律した学習者」を育成する授業改善～

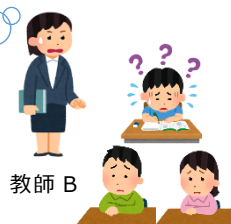
群馬県教育ビジョン（第4期教育振興基本計画）が示され、エージェンシーを発揮し「自律した学習者」を育成するために、各学校では、学校の重点課題や児童生徒の実態等を踏まえながら、日々の授業改善に取り組んでいただいています。そのような中、教師が「～させる」授業から児童生徒が「～する」授業への転換が難しく、以下のような疑問や不安を抱えている先生方も多いのではないのでしょうか。



教師 A

子どもたちに関心を高められるように、かなり準備して授業をしているつもりですが、なかなか子どもたちがのってきけません。

⇒先生が授業で全面に出て、子どもが受け身になっていませんか？



教師 B

子どもたちを信じて、任せることが大事なのは分かりますが、学力の定着が心配で任せきることができていません。

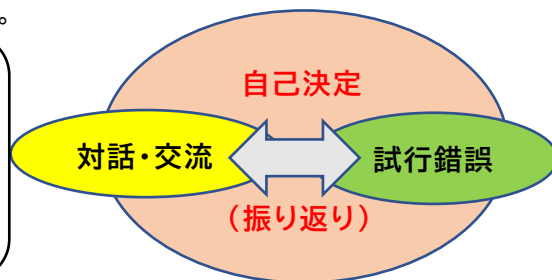
⇒子どものもっている力を、もっと信じて、子ども自身に決めさせてみませんか？

そこで、利根教育事務所では、各学校で実施した学校訪問Aを振り返り、授業で「自分が決めた」と実感できるようにするために、学習過程のどこで、どのように子どもたちに働きかけるとよいか、以下のようなイメージ図とそのポイントを作成しましたので、参考にしてほしいと思います。

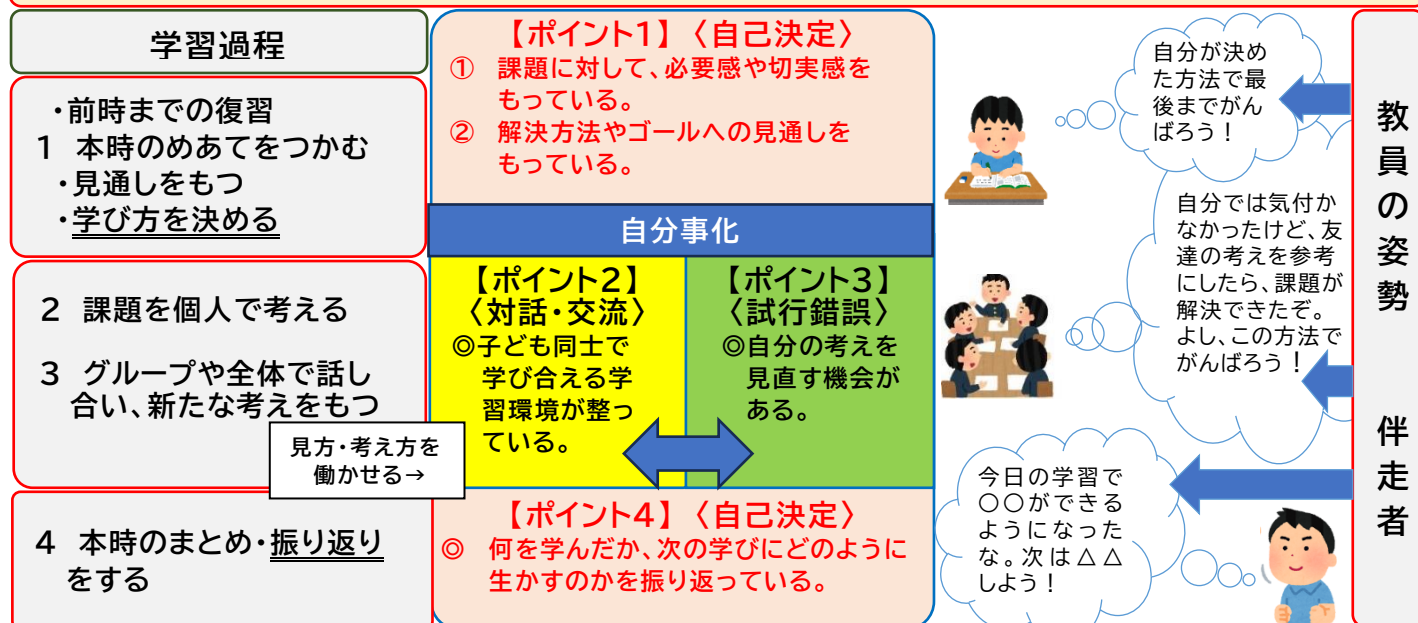


指導主事

県教委のリーフレットでは、子どもたちがエージェンシーを発揮できるように、「自己決定」「対話・交流」「試行錯誤」の3つの場面を意図的に取り入れることを推奨しています。管内の実態から、特に「自己決定」に焦点を当てたときのポイントを示しました。子どもたちの活動をチェックしてみましょう。



主体的・対話的で深い学び(能動的で他者と協働した学び)



指導主事

子どもの思考の流れに沿って、必要な場面に「対話・交流」「試行錯誤」を取り入れると、自分で考え、自分で決めて能動的に学ぶ姿が見られますね。

児童生徒に任せられる場面が増えてきたら、単元内の「自由進度学習」にも挑戦してみたいかがででしょうか。

所長

